

# 令和元年 12月定例会 市議会でのあれこれ

令和元年第3回菊池市議会定例会は、11月29日から12月20日まで22日間開催されました。

今回の補正予算では、**2億497万円**が追加され、一般会計予算の総額は**295億円**になりました。

東京2020オリンピック・パラリンピック事業として、**1,339万9,000円**が計上されました。

これは今年5月7日に実施される聖火リレーに係る経費とのことですが、費用の大半は暴挙等に対する警備関連で、現時点では最大級の警備体制を見積もっているが今後の協議の中で簡素化できる場所は減らしていくとの説明がありました。

有害鳥獣被害の陳情に対して、現状と対策について執行部から説明があったものの、通り一遍の説明で実効性は低そうに感じました。まずは有害鳥獣の頭数を減らすことではないでしょうか。

ある一定数（予算内）の捕獲頭数に達するとそれ以降は報奨金が出ないことに対して、**予算を超えると報奨金を出さない??**このような身近な問題にこそ補正を組んでも報奨金出すべきだとの質疑が委員からでました。

また、捕獲した後どうしていいかわからない。といった趣旨の陳情内容であるにもかかわらず、「総合的に検討する」や「前向きに検討する」といった、具体性に乏しい答弁でした。

母子保健情報連携システム改修委託料、131万6,000円の補正内容を質疑したところ、乳幼児健康診査や妊婦健康診査等の情報において、マイナンバー制度を活用し、**マイナーポータル**で市町村間の連携を開始するものであり、これは転居等をした場合に予防接種や検診履歴を、必要に応じて本人に聞き取りをしたり、文書等で問い合わせしていたことが、連携システムの活用で、市町村間での情報のやり取りができるということです。

**\*マイナーポータル**は政府が運営するオンラインサービスです。子育てや介護をはじめとする行政手続きがワンストップでできたり、行政機関からのお知らせを確認できたりします。  
\*マイナーポータルを利用するには、利用者証明用電子証明書を搭載した**マイナンバーカード**が必要です。

## 計画（目標とは）何？

平成30年度の「癒しの里きくち創生総合戦略効果検証」が、昨年9月議会最終日に報告されました。

本年度（令和2年3月）が5か年計画の最終年度になります。そこで検証内容を私なりに改めて検証したところ、目標設定根拠の稚拙（ちせつ）さや、各年度の結果に対する要因分析の杜撰（ずさん）さが目につきました。

当初計画（目標）の達成に向けた取り組みは大事だと思いますが、目標値から大きく上振れや下振れした場合には見直しを行う必要性を感じます。

また計画に対する考えが、「計画なんて作文に過ぎない」とか、「外向けに外部の者に説明するためにとりあえず作っておく」といった意識であれば、それは無計画にすぎません。このようにロジカル（論理的）に作られていない計画に固執すると失敗を招く恐れもあります。

このような状況から、今後もこういった乱暴なやり方を踏襲するのか、それとも状況に応じ柔軟に緻密な仕事をしていく考えがあるのかを市長に尋ねましたが、**当面は今のやり方を続け、精度を上げる**との答弁でしたので、現状の**“やっつけの仕事”**でも精度が上がるとお考えなのでしょう。

私は現状のやり方では納得できませんので、税金をいかに有効活用しているのかを、これからもしっかりとチェックしてまいります。

## 中央図書館椅子問題、 またもや否決！

中央図書館の椅子問題に関して、荒木議員から4度目となる100条委員会設置提案が行われ、賛成者として賛成討論を行いました。

①総務文教常任委員会で十分に議論された結論なので問題なしと発言された反対議員もいますが、新たに出る疑惑に対して委員長に質疑しても、委員会では審議していない等、税金を投入して行われた疑義に対して納得できる回答は得られていません。

②多くの市民の方々からも税金の使い方に対する疑義を問われているにもかかわらず、議員の大多数が反対しているのは、何か思惑があつてのことでしょうか。

市民との感覚がかけ離れていることに違和感を覚えます。

今回も賛成5反対14の賛成少数で、否決となりましたが、良識ある賛成議員が1名増えました。



令和元年12月議会 vol.6  
Kikuchi city council member Report

# 市政

菊池市政に民間企業での経験を！

意思決定・政策のチェックの場に  
培った視点を活かします

# 活動通信

## 福島ひでのり

あけましておめでとうございます。

**子年**は新しい運気の始まりであり、**種子**が膨らみ始めるとのことからも、**未来**への大いなる可能性を感じます。

また**“ねずみ”**には**「ネズミ算」**といった言葉があるように、**子孫繁栄**の象徴でもあります。

株式市場にも**「子年繁栄」**といった格言があり、株価が上昇する傾向にもあるようです。56年ぶりに東京で開催される、**オリンピック・パラリンピック2020**による経済効果を考えると、この格言もあながち間違いではなさそうで期待してしまいます。

みなさま、今年も一年健康には**チュー**いされて、**福島ひでのり**のことも、もよろしく願いいたし**マウス!**

## Profile

- 1961年 7月 菊池市七城町高田生まれ（58歳）
- 1979年 3月 七城小学校・中学校を経て、鹿本高校卒業
- 1986年 4月 日本電子材料株式会社入社
- 2009年 10月 慶応義塾大学経済学部入学
- 2012年 4月 日本電子材料株式会社韓国法人（同和 JEM）代表理事副社長
- 2018年 3月 日本電子材料株式会社退社
- 2018年 5月 菊池市議会一般選挙に出馬し、初当選（1期目）



連絡先  
〒861-1357 熊本県菊池市七城町高田 640-1  
TEL：090-5288-2466（携帯）  
発行者：菊池市議会議員 福島 英徳

# 市民の声を市政に活かす 一般質問

議員個人が、市政について疑問点をたずね提案し、改めたいこと・実現したいことに関する報告や説明を求め、市長や部長等が答弁します。答弁内容から、執行部が適切な市政運営を進めているかを議員がチェックするものです。

## 七城ふるさとコスモス祭りの ありかたについて

**福島：**今年の七城総合グラウンドのイベント会場で行われたイベントは盛況で嬉しく思います。また、ウォークラリーの参加者も昨年の660人から850人と、200人も増加したと聞いています。

参加者の増加により、今年のふるさとコスモス祭りは成功だったように感じます。それには祭りを盛り上げるために様々な取り組みを行われてきたと思いますが、これまでにどのような取り組みがなされてきたのでしょうか？併せて、今後更に取り組みられる内容を含めた方向性をお聞かせください。

**経済部長：**平成30年度からコスモスウォークラリーコースの途中に、特産品のメロンや七城米のおにぎりの試食コーナーを設置して参加者からの好評を得ていたこともあり、本年度もポスターやチラシに掲載して募集を募った。

9月上旬にはNHK福岡局のお昼の情報番組：はっけんTVでも紹介され申し込みも増えた。今後は実行委員とも話し合いながら来場者増をめざす。

**福島：**次は残念に感じたことを述べます。冠でもあるコスモスの状態が悪かったことです。

私も河川敷を見て回りましたが、昨年よりも更にひどかったように映りました。近隣および、遠くは玉名の介護施設から見に来られた方々からも残念な声を多く聞きました。

何故このような結果になったとお考えでしょうか？

**建設部長：**現在、コスモスの耕うん・種まきは河川除草作業員が行っているが、河川の除草と種まきの時期が重なり、人手不足で種まきの時期がずれた。

種まき後のコスモスの草取りはシルバー人材に依頼しているが、以前に比べ市として人員確保ができなかった。コスモスの咲き方については、土壌の問題・種まきの時期・草取り不足等、特定はできないが、こ

のようなことが、要因であろうと思われる。

**福島：**合併前には、七城町に堤防の管理費として国土交通省から年間2,000万円程度の委託金がありました。その委託金を上手に活用して、毎年見事なコスモスを咲かせていたわけです。その委託金は現在も継続していると思いますが、年間幾ら交付されて、どのように使用されているのかをお聞かせください。

**建設部長：**国から河川の美化作業として委託金をもらっている。平成28年度と平成29年度は1,670万円。平成30年度は1,717万円で、主に作業員の賃金・消耗品・修繕費・保険料・コスモスの種まき、そして機械の買上げや、3年に1度程度大きな機械の購入費に充てている。

**福島：**国土交通省から受け取っている委託金は合併前とさほど変わっていないと聞いていますが、コスモスの質は明らかに落ちています。なぜ同じ予算があるにもかかわらず当時と同じレベルの質が保てないのでしょうか？委託金を余らせることなく有効に使うことで、みんなが楽しみにしているコスモスの質を上げることはできると思います。

私は、合併前に咲き誇っていたコスモスを復活させるリソースは十分にあると思います。春先の桜と同様に、秋には秋桜と書くコスモスも名物にしたい考えが私にはありますが、

これまでの答弁や質問を聞かれて市長にはその考えがあるのかをお聞きします。

**市長：**コスモス祭りに関しては毎年お客さんが増えているが、今年は特によかった。

この祭りを七城、そしてそれを菊池の売上げにつなげたいし、だんだん名物になりつつあるのではないかと思う。



## 各種委託料について

**福島：**ここ数年いろんな分野で外部委託が増えていると感じます。時代の流れもあり民間企業でも人件費削減等により、アウトソーシング要するに外部委託が増えていました。しかし最近では情報の流出や質の向上からも、外部委託は減らす方向にあるようです。

本庁でも外部委託が増えているようですが、外部委託の実態をお聞きします。

最初にソフトウェアを含めた電算システム改修費に関して、過去3年間の推移をお示してください。

**総務部長：**ソフトウェアを搭載した保守・管理・改修等に係る委託料については、平成28年度は7,685万円。そのうち法改正等により必要となった委託料が725万円。平成29年度は1億994万円。うち法改正に係る委託料が1,300万円。平成30年度は1億561万円。うち法改正に係る委託料が1,226万円です。

**福島：**法改正等によるシステム改修に係る委託料は10%程度ということですね。システム改修も含めてこれらを外部に委託される場合は、知識を持った職員によって見積り等の妥当性等の検証はされているのでしょうか？

**政策企画部長：**システム改修については、昨年末に情報システムガイドライン（素案）を作成し、それに基づいて政策企画部で事前審査しているが、疑義があればICT推進アドバイザーにも相談して適正な内容かどうかを精査してる。

**福島：**業者に丸投げではなさそうなので安心しましたが、更にブラッシュアップして無駄な支出がないようにお願いします。

次に2年ほど前から、コンビニで住民票等各種交付が可能になりましたので、過去2年間の交付件数と歳出経費を調べました。平成29年度は交付数370件で、経費が約370万円です。1件当たり1万円。平成30年度は交付数561件で経費が約470万円です。ただし、システム改修費に100万円がかかっていますので、実質約370万円で1件当たり約6,600円。

平成30年度のシステム改修は継続するものか一過性のものなのかをお聞かせください。

**市民環境部長：**今回のシステム改修は、旧姓併記によるもので頻繁には発生しないと聞いている。

**福島：**コンビニ交付に係る年間の固定費が370万円で一定だとすれば、交付数が増えれば1件当たりの経費も下がるということになります。

更に年末年始を除き土日も含め朝6時30分から夜は11時まで、全国各地で交付が可能とのことですので利便性は上がり、本庁や支所での窓口業務も軽減できると思います。

ただし、コンビニでの交付にはマイナンバーカードが必要だと聞いています。本市における現在の保有率は10.10%とのことですので、今後コンビニでの交付数を増やすためにはマイナンバーカードの普及率を上げることが前提になりそうです。

一般の一般質問で答弁されたように、申請窓口を増やす等の取り組みは必要でしょうが、市民の方々がマイナンバーカードを保有するメリットを感じなければ、そう簡単には普及率は上がらないと思います。

そこで提案ですが、例えば住民票を本庁や支所で交付する場合300円ですが、コンビニ交付だと200円になるとすれば市民の方はメリットを感じられると思います。

便利でかつ安いのであれば普及も進むのではないのでしょうか。それによって本庁や支所での窓口業務も減り、その人材を他に充てられるといった相乗効果も出ると思いますが、考えをお聞かせください。

**市民環境部長：**導入当初はコンビニ交付が少なかったため単価が高かったが、増えてくれば窓口での交付件数が減るし、対応等にも効果が上がってくると考える。コンビニ交付には、言われたようにマイナンバーカードが必要で推進に向けた体制をつくっているが、提案されたコンビニ交付の手数料を下げる等の事例については先進事例を研修して導入が可能かどうか検討していく。

